

月形浦臼線の土日祝日ダイヤの減便について

月形浦臼線は、令和２年４月の運行開始より民間事業者による路線バスとして、国庫補助金（地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金（以下「フィーダー補助」という。）」を活用し運行している。フィーダー補助の補助要件は、１回あたりの乗車人員が２人以上であるが、令和６年度と令和７年度の２年連続で補助要件を満たせていない現状である。

令和７年１０月にはバス車両を更新し、国庫補助金（車両減価償却費等国庫補助金）の活用を見込んでいるが、フィーダー補助が対象外の場合は、この国庫補助金も連動し対象外となる。

フィーダー補助の補助要件を満たす対応策として、乗車人員の少ない便を減便し、補助要件の分母となる目標数値を下げる対策があり有効であることから、浦臼町との協議を踏まえて、土日祝日便を４往復から３往復に減便した。

なお、減便する具体的な便については、過去の乗車実績や月形当別線との接続、高校生等の利用状況を総合的に判断し、月形発浦臼行きの第１便、浦臼発月形行きの第２便とした。

減便をすることにより、過去の乗車実績からの試算では、令和７年１０月から開始する令和８年度補助年度はフィーダー補助の補助要件を満たせる見込みである。

過去３年間実績

年度	補助要件人数	実績	補助対象
令和５年度	３，４０４人	３，６４１人	補助対象
令和６年度	３，４０４人	２，８１６人	補助対象外
令和７年度	３，４００人	３，００３人	補助対象外